



報 紙
に し は ら

西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苺112番地
電話 (09894)-5-4533
印刷
(協)丸正印刷

町の世帯・人口
(昭和62年11月末現在)

世帯数	7,081世帯
人口	24,171人
男	12,410人
女	11,761人

11月の人口移動

出生	36人	死亡	6人
転入	117人	転出	95人
婚姻	8件	離婚	3件

年頭のあいさつ

西原東中学校の開校と

町民陸上競技場の整備

西原町長 平安恒政



町民の皆様には、平素から町政
に対して深いご理解と絶大なるご
協力を賜り、お陰様で町政も順調
に運営され、心から感謝を申し上
げる次第でございます。

町民の皆様、明けましておめで
とうございます。

年頭のあいさつ

町民の協力体制と町政発展

町議会議長 親泊輝武



明けましておめでとうござ
います。

輝かしい昭和六三年の新春
を迎え、町民各位にはさぞか

しよい年をお迎えになったことと存じます。

本町も町民各位のご理解とご協力により、年々発展の一端をたどっておりますことは誠に、ご同慶の至りであります。

ところで昨年は、全国一巡の最後を飾る国体が、復讐十五年の節目にあたる記念すべき年に本県で開催されました。本町では成年男子のバスケ

ットボール大会が行なわれましたが、その開催にあたっては、町内各種団体をはじめ、すべての町民が「ひとり一役万人が主役」を合言葉に、その受け入れ準備から一丸となつてご協力いただいたおかげで予想外の成果を納めることができました。

こゝに町民各位のご協力に對し心から感謝申し上げます。

本町は、ご承知のように「立教のまち西原」を標榜して新しい町づくりを進めている昨今であります。町民の期待する住みよい豊かな町づくりを推進していくには、もちろん行政にたゞさわる者の日々の

私は、町政の重責を担って就任以来、「対話行政」、「町民参加並びに「反戦平和」の姿勢を基調にし自治の原点を大切にして町政運営に当って参りましたが、昨年は、町議会を始め各種団体並びに町民のご理解とご協力により生活環境の整備、社会福祉の充実、産業の振興、教育文化、スポーツの振興、国際交流事業の推進、平和事業等々の各種施策を推進して、「平和で活力ある文教のまち」づくりに最大の努力を傾注して参りましたが、特に、海邦国体につきましては、全国一巡のしめくくりの国民体育大会として、更に復讐十五周年目の記念すべき歴史的な大事業として町民ぐるみで取り組み、成年男子バスケットボール競技会を無事、成功裏に終えることが出来ました。

これも偏に町民の暖かいご理解と真心からのご協力の賜ものであり心から感謝を申し上げる次第でございます。

海邦国体で体験した町民の和、

研鑽と努力もさることながら、町政に対する町民のご理解とご協力がなにより肝要かと存じます。

昨年、町民各位が海邦国体開催に寄せていただいた協力体制を今後は町政のうえに反映していただき、躍進する本町の発展を期待してやみません。

おわりに、希望に満ちた昭和六三年の年頭にあたり、町民各位のご繁栄を祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



協力体制、「やれば・出来る」という心意気、自信と感動、喜び等多くの貴重な成果を今後の町政に生かしたいと存じます。

さて、内外の社会経済情勢は、益々厳しさを増しておりますが、国政においても、財政改革、税制改革、教育改革等が論議され、更に円高ドル安、農作物の輸入自由化等、国政において難問が山積し厳しい社会経済環境にありますが多様化する住民ニーズに対応するため、町議会を始め町民のコンセンサスを得て職員一丸となって各施策を推進し、「文教のまち」づくりの飛躍の年にしたいと存じております。

本年は、昨年、校舎・体育館等を建築整備しました西原東中学校の開校を始め、学校プールの建設過密化が進みつつある西原小学校の分離校問題の検討、町民陸上競技場の整備着手、上原・棚原土地区画整理事業の推進、中城湾南部地域開発構想（ＭＴＰ）及び公有水面埋立事業の推進、生活基盤の



あけましておめでとうございます

[illegible]

事務局長	農業委員會 主 管	國體事務局	教育課長	土木課長	都市計畫課	產業課長	國民健康課	課長	稅務課長	稅務課長	福祉課長	企画課長	總務課長	収入役	助役	町役長
佐久川正信	棚原 盛光	城間 太郎	翁長 正貞	与儀 博彦	玉那覇三郎	泉川 利夫	上地 安治	興屋 厚雄	我謝 孟功	比嘉 正和	富平 恭助	大城 助徳	翁長 正昌	小川 恒政	平安 良夫	

整備、産業の振興、住民福祉の向上、町民まつり等の事業を計画し、活力ある明るく住みよい文教の町づくりを推進したいと考えておりますので、町民各位の町政への積極的ご参加とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

終りに、迎えました辰年が町民皆様にとりまして、実りの多い、素晴らしい年でありますよう益々のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

第13回『動く美術館』西原町展：昭和63年2月7日～19日、町民体育館

わたしたちは、つねに学び、文化の高いまちをつくりましょう（町民憲章より）

香り高い「文教のまち西原」を目指し
第一回西原町文化祭を催す

展示・舞台の部で芸術、文化を公開

「人間性豊かな文教のまち西原」の文化の継承発展を第一回西原町文化祭が十二月十二日（土）、十三日（日）の両日、西原町（平安恒政町）としてとらえ、今後の「文教の創造発展させる絶好の機会」としてとらえ、今後の「文教の



第一回西原町文化祭でテープカット
：12月12日、町中央公民館

第一回西原町文化祭が十二月十二日（土）、十三日（日）の両日、西原町（平安恒政町、長）、町教育委員会（稲福恭助教育長）主催により町中央公民館において開催された。

オープンセレモニーにおいて平安恒政町長、稲福恭助教育長、親伯輝武町議会議長によるテープカットの後、主催者を代表し、平安町長、稲福教育長のあいさつが行われた。

その中で、平安町長は、「地域文化を保存継承し、豊かな人間性を醸成させ新しい文化を創造発展させる絶好の機会としてとらえ、今後の『文教のまち西原』づくりを推進していきましよう。」と述べた。

なお、文化祭での二日間にはわたる展示の部では、一般公募による作品の外、各部門の指導的な方々の作品が紹介され町民にすばらしい芸術・文化の公開が行われた。

また、初日の舞台の部においては第一部『合唱・声楽・アレンサンブルの競演』として町

少年少女合唱団、西原中学校混声合唱団、コール・ブリュール・エン、琉球大学ギターアンサンブルクラブ、ギターアンサンブルGEN、伊江朝明氏の独唱、西原中学校吹奏楽、西原高校吹奏楽などによる演奏やすばらしいコーラスなどが披露された。

第二部『古典芸能の夕べ』では、上原直彦氏の司会により、町内の古典音楽研究所や琉舞研究所、箏曲研究所を中心とする団体、個人による古典音楽斉唱、独唱、舞踊、箏曲合唱のほか、沖縄国際センター研修生による国際民族芸能などが紹介され、会場を埋めた四百人余の観客より盛大な拍手を受けた。

第二部『古典芸能の夕べ』

海邦国体町実施本部解散

町民の一致団結で目的達成

第42回国民体育大会（海邦国体）町実施本部（小川良夫本部長）の開散式が十二月七

日午前、町役場で行われ解散式には、平安恒政（第42回国民体育大会町委員会会長）、小川同実部長のほか、各専門部の班長などが出席、本町でダイベント（海邦国体）を確認し合った。

町実施本部は、本年六開設され、各専門部を中全町民の積極的な協力理解により諸準備がスムに進められ、無事、初期



実施本部の看板を降す平安町長、小川実施本部長=12月7日、国体事務局前

昭和62年度町一般会計補正



実施本部の看板を降す平安町長、小川
実施本部長＝12月7日、国体事務局前

施本部解散

団結で目的達成

日午前、町役場で行われた。解散式には、平安恒政町長（第42回国民体育大会町実行委員会会長）、小川同実施本部長のほか、各専門部の部長班長などが出席、本町での一大イベント（海邦国体）成功を確認し合った。

町実施本部は、本年六月に開設され、各専門部を中心に全町民の積極的な協力とご理解により諸準備がスムーズに進められ、無事、初期の目的を達成した。

解散式では、平安町長、小川町実施本部長、稲福町副本部長などより、「町民の皆さん的一致団結により無事に海邦国体の成功を成し遂げ共に喜んでおります。『やれば、できる』を合言葉に、今後の町政に反映させ、各種イベントの成功に向けて町民と共に頑張りましょう。」とあいさつが述べられた。

また、解散式終了後、国体事務局に掲げられていた実施本部の看板を平安町長、小川町実施本部長の手により取りはずした。

昭和62年度町一般会計補正予算など可決

昭和62年第9回町議会定例会

生産意欲の高揚と農業の振興を

昭和六十二年度 産業展示会賑う

昭和六十二年産業展示会
が十二月十二日（土）、十三
より町社会福祉センターにお
いて開催された。

四百点近く展示され、参観者
の目を引いた。

福ハル（ピクルス）、屋良朝弘（ハチミツ）、沢砥静子（みそ）・特別賞・花城秀子（野菜栄養パン外）

【手工芸の部】優秀賞・仲程梨枝子（リフォーム）、屋宜トヨ子（ちぎり絵）・農協長賞・屋宜トヨ子（ちぎり絵）

昭和六十二年第九回町議会定例会が、十二月十五日から十七日までの三日間の日程で開催された。

定例会では、昭和六十二年度町一般会計予算の補正など四件の議案がすべて原案通り可決された。

今回、可決された議案は、
①昭和六十二年度町一般会計
補正予算②昭和六十二年度町
国民健康保険特別会計補正予
算③町国民健康保険税条例の
一部を改正する条例④町税条
例の一部を改正する条例など
である。また、議員提案の①

本土・沖縄間航空運賃の低減
に関する要望についての決議
文と①国民健康保険制度の改
革に関する意見書②義務教育
費国庫負担制度の堅持に関す
る意見書などが原案通り全会
一致により承認された。



昭和62年度 産業展示会のもよう
：12月12日、町社会福祉センター

これは 本町で生産される農産物、花き、農産加工品、手工芸品等を一堂に展示して、広く町民に公開しこれを賞賛、激励し、農家の生産意欲の高揚を図り、地域農業の発展と振興に資することを目的として開催されたもの。

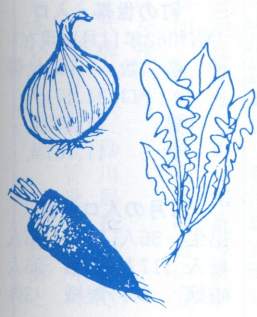
展示会には、町民多数が参加、大根、サヤインゲン、人参などの農産物をはじめ、パイヤ、味そ、ピクルスなどの農産加工品、衣類、ハンドバックの手工芸品、カジマルさつき等の盆栽などが、合計

また、特別コーナーとして、試食コーナーや子豚展示コーナー、野菜即売コーナーなどを設置し、参加者より好評を得た。なお、十三日（日）午後二時半より町中央公民館では、展示会出品物に対する表彰式が行われ、各部において次の方々が表彰を受けた。

【農産物の部】優秀賞・屋良朝弘（青首大根）、翁長精三（パクチョイ）、宮平和俊（サヤインゲン）・農協長賞・宮平和俊（サヤインゲン）。

【農産加工の部】優秀賞・稲

【花き・盆栽の部】優秀賞
 宮平光雄（小菊けんがい）、
 玉那覇俊雄（さつき）・農協
 長賞―弓削次男（ガジマル）
 【さとうきび作優良農家】
 新川正一、糸数ヨシ子、仲
 宗根正治、呉屋善徳、照屋太
 郎。



平安町長、見舞金を支給する

町心身障害者(児)二〇四人に



平安町長、見舞金を支給し激励
—12月14日 愛宕園にて—

本町では、十二月の身体障害者福祉強調月間にちなみ、町内に居住する心身障害者（児）の福祉増進を図ろうと、対象者二〇四人に合計九十万円余の見舞金を支給された。

十二月十四日午前十時より平安恒政町長は、精神薄弱者更正施設（宇池田65番地）の「愛泉園」を訪問、三十三人の入所者に見舞金を支給、「クリスマスやお正月を楽しく過ごし、仲間達と共に、先生方のご指導の下、有意義に過ごして下さい。」とあいさつを述べた。

昭和62年度 町県民税第4期の納期は、昭和63年1月31日までです
未納の方は、最寄りの金融機関でお早目に納付して下さい。

★一月	4日 新春親子あそび大会(町教育委員会主催)	5日 年始会(町中央公民館)	7日 東部消防組合消防出初式	11日 第三回町P連協伝大会	15日 昭和六十二年成人式(町主催)	18日 第三回新春トリムマラソン大会(町教育委員会主催)	22日 昭和六十二年第一回町議会臨時会(西原東中学校敷地造成工事請負契約など可決)	23日 町水道事業二十周年記念式典	26日 西原東中学校敷地造成工事起式	★二月	1日 町職員採用試験	10日 「期限内納税・青色申告推進の街」宣言	12日 昭和六十二年町議会臨時会	14日 第34回少年野球大会	15日 町体協主催第一回各区対抗テニス大会	17日 山梨県都留市より国体旗引継	21日 第四回町社会教育研究大会	28日 第六回西原町PTA研究大会	★三月	1日 第一回西原町音楽祭(町教育委員会主催)	5日 海邦国体標準献立料理講習会及び試食会(町国体事務局)	7日 町学推協第二次研究発表会	12日 昭和六十二年第三回町議会定例会(30日まで) 昭和六十	16日 町議会議員公共事業現場視察	27日 西原坂田郵便局開局	29日 町母子、寡婦、父子家庭児童	激励会			
★四月	1日 町職員定期人事異動	10日 町女子保健推進員委嘱状交付	11日 第一回教育講演会	12日 町婦人連合会定期総会	15日 町学推協総会	18日 小那覇児童公園開園式	20日 海邦国体民泊推進・民泊協会結成推進協議会	21日 島尻J・C青少年育成チャリティーゴルフ大会	21日 「平安町長と語る行政懇談会」実施(六月十二日まで)	23日 町子連協総会	28日 町体協総会	★五月	1日 第42回国民体育大会町実行委員会第四回総会	2日 町心身障害児(一者)を育てる会総会	14日 町献血推進協議会総会	19日 町商工会第12回通常総会	21日 春の行政相談	26日 町交通安全推進協議会総会	★六月	4日 水道施設視察研修会(福地タム等)	6日 町PTA連絡協議会総会	7日 町体協第九回各区対抗家庭婦人・OBバレーボール大会	8日 西原小学校水泳プール落成式	9日 海邦国体チャリティーゴルフ大会(町商工会青年部主催)	10日 海邦国体町実施本部開設	12日 国体民泊の集い開催	13日 第35回少年団野球大会	15日 昭和六十二年町議会臨時会	16日 第一回町健康づくり推進大会	19日 昭和六十二年町戦没者追悼式
23日 町主催「西原の塔」西原高校PTA西原支部結成総会(町中央公民館)	24日 昭和六十二年第五回町議会定例会(基本構想見直し等議決)	27日 暴力団排除町民大会	★七月	4日 昭和六十二年度婦人主張大会	5日 町体協各区対抗野球大会	7日 町長と語る婦人の集い	11日 青少協第七回町民総決起大会	12日 町体協第二回各区対抗テニス大会	ライオンカップ第七回全日本バレーボール小学生大会沖縄大会(男子西原、女子坂田が優勝)	18日 海邦国体百日前記念バレーボール大会(町民体育館)	19日 町体協各区対抗バスケットボール大会(町民体育館)	21日 町学推協教育講演会	26日 町体協各区対抗卓球大会	29日 第十五回町老人クラブ大会	30日 第六回町道路排水愛護デー	★八月	2日 町体協ボーリング大会	4日 空カン回収作業(県道38号線)	5日 海邦国体大会旗・炬火リレー	9日 県リハーサル大会	町体協各区対抗バレー大会	●町社協福祉バザー	10日 ブラジル青年(新垣マリオ、与那嶺五月さん)表敬訪問	17日 全国交通安全母の会交通安全キャラバン隊来町	18日 昭和六十二年第六回町議会臨時会(西原東中学校校舎建築工事請負契約など可決)	21日 西原東中学校校舎・体育館建設工事起式	22日 町商工会婦人部海邦国体チャリティー素人演芸の夕べ			
23日 第二回町職域バスケットボール選手権大会	11日 西原中学校テニスコート夜間照明点灯式	町子連育成者・指導者研修会	町農業委員会委員選挙	町子連第三回親子野球大会	町史第三巻(西原の戦時記録)出版祝賀会	町社協第四回敬老会	町スポーツ少年団、町民体育館周辺合同清掃	平和を考える町民の集い(西原町及町教育委員会主催)	《絵画・彫刻と平和コンサート》	町スポーツ少年団バレー大会	昭和六十二年第七回町議会定例会(昭和六十一年度町一般会計決算など認定(28日まで)特別養護老人ホーム守礼の里開所五周年記念式典	★十月	1日 就業構造基本調査	町固定資産評価委員会委員委嘱状交付	●海邦国体、かりゆし大会選手監督激励会	●町学推協学校部会中間発表会	町運動公園入口信号機点灯式	南伸道路開通式	九区公民館落成式	第十一回全国防犯県民運動	西原中学校男女総合優勝(第14回中頭地区中体連陸上競技大会)	海邦国体大会旗・炬火(平和の火)リレー本町通過	海邦国体前夜祭	第42回国民体育大会(海邦国体)総合開会式	海邦国体歓迎レセプション	海邦国体バスケットボール競技会(成年男子)開始(29日全日程終了)				
●ハワイ州知事ワイヘエ氏就任祝賀会	2日 西原東中学校開校準備室設置(城間期一先生西原東中学校初代校長に就任)	秋の行政相談	台沖交流習字展(瑞島書道会主催、町教育委員会後援)	海邦国体成功慰労会	昭和六十二年第八回町議会臨時会(昭和六十二年第一回町議会臨時会)	会計補正予算など議決	秋の叙勲、褒章者並びに教職員歓送迎会	西原郵便局新局舎落成式	町立保育所開設十五周年記念合同運動会(町民体育館)	町学推協地域部会中間発表会	町子連子ども会大講演会	★十一月	町老連第十四回輪投げ大会	●第八回西原地区小・中学校児童、お話 意見発表大会	●町P連主催	●第13回運く美術館町展記念講演会	教育講演会(町P連主催)	コールブリュエン第一回発表会(坂田小体育館)	町体協第七回テニス選手権	海邦国体町実施本部解散式	第一回西原町文化祭(西原町町教育委員会主催(町中央公民館)13日まで	●昭和六十二年産業展示会(町社会福祉センター)13日まで	昭和六十二年第九回町議会定例会(17日まで)	●昭和六十二年度町一般会計補正予算など議決	平和を考える婦人の集い	商鉱業石油等消費統計調査、工業統計調査、工業実態基本調査				

昭和62年の歩み

川島館長が記念講演

来年二月「動く美術館」開催

去る十二月二日午後七時より町中央公民館ホールにおいて「動く美術館西原町展記念講演会」が開催された。講演者は、今年で動く美術館活動は、今年で第十三回目を迎える県内でも数カ所しか開催されておらず、多くの市町村でも開催が望まれているもの。日本の超一流の画家の作品「これまでに動く美術館活動の歩みについて」とする演題で講演が行われ、「文教のまち西原」での成功を熱く呼びかけた。

「動く美術館西原町展」は来年二月七日から十九日にかけて、約二週間、町民体育館で開催される予定。

(入場は無料)



「動く美術館西原町展」に向け記念講演会=12月2日、町中央公民館

63年度保育所入所児童募集

受付は1月16日(30日まで)

昭和六十二年四月から保育所に入所を希望する児童の受付をいたします。

受付期間は、一月十六日より一月三十日まで町役場福祉課で行います。

保育所は、その児童の保護者が、就労、疾病及び病人の看護等の為、保育できない場合、その児童の保護者にかわって日々保育する児童福祉施設です。

保育所名	定員	保育所名	定員
西原保育所	60名	西原百合保育園	90名
坂田保育所	90名	ささなみ保育園	90名
愛和保育園	90名	小川保育園	60名

毎年1月10日は110番の日です！
じょうずに使おう110番、すばやくあなたの110番

表現も豊かに力いっぱい発表

第八回町P連童話・お話・意見発表大会



表現も豊かに力いっぱい発表する
＝12月2日、町中央公民館において

町PTA連絡協議会（新川雅権会長）主催、第八回西原地区小・中学校・童話・お話・意見発表大会を十二月二日午後一時半より町中央公民館で開催した。

同発表会では、各学校での発表会から選出された十四名の児童生徒が挑戦、表現も豊かに、童話や自分の体験を通しての発表に熱弁をふるった。

会場には、平安恒政町長をはじめ、各小学校長、町教育委員のほか、各小・中学校児童生徒徒約三百人が詰めかけ、一人ひとりの発表に大きな拍手を送った。

なお、成績は次の通り

【小学校低学年の部】

☆最優秀賞―屋比久俊雅（西小三年）、玉城春菜（西原東

小一年）

▼優秀賞―喜屋武龍介（西原東小一年）、下地智之（坂田小二年）、田中織江（坂田小二年）、山城真希（西小二年）

【小学校高学年の部】

☆最優秀賞―山城啓（西小五年）、喜屋武麻記（西原東小六年）

▼優秀賞―徳盛裕元（坂田小四年）、大城伸吾（西原東小六年）、砂川あきの（西小六年）、島袋磨里野（坂小六年）

【中学校の部】

☆最優秀賞―金城英男（西中二年）、宮平星子（西中一年）

全世界の子ども達を守ろう！

『平和を考える婦人の集い』催す

「いつまでも平和で暮らしたい」との願いをこめて、十二月十七日午後七時より、町社会福祉センターにおいて町退職女教師の会を中心とする活動家主催、西原町、町教

育委員会、町婦人会外各種賛同団体による「平和を考える婦人の集い」が開催された。

集いには、町内の各種婦人団体より六〇名余が参加し、日ソセミナー世界大会へ参加した平敷りつ子さん（沖縄県退職女教師の会会長）のソ連訪問報告、外間豊さん（平和運動家）による「国家秘密法について」の講演、安里要江さん（北中城村平和運動語り部）による「北中城



「いつまでも平和で暮らしたい」と願う「平和を考える婦人の集い」開催される
＝12月17日、町社会福祉センター

村平和運動の取り組みと私」と題する体験報告を受けた。今回の「集い」では、沖縄県内をはじめ、日本全国、世界各国において、平和を願う婦人達の活動の状況と、今後二度とくり返してはならない悲惨な戦争への道を阻止し、全世界の子ども達の幸せを守り抜いて行くことを確認をした。

成人式のご案内

本町では、今年成人を迎えられる方々の新しい門出を祝福するため成人式を左記の通り挙行いたします。

日時 昭和六十三年一月十五日、午後二時

場所 西原町中央公民館

参加資格 昭和四十二年四月二日～昭和四十三年四月一日生れの方。

※詳しくは、町総務課へ（電話五―五〇―一）

幼稚園入学志願者募集

県立島尻養護学校（親泊安徳校長）では、昭和六十三年度沖縄県立盲学校、ろう学校及び養護学校の幼稚園並びに高等部入学希望者選抜実施要項の方針に基づき、幼稚園入学者を左記のとおり募集します。

記

一、出願資格
学校教育法施行令（昭和28年政令340号）第22条の2に該当する者で、昭和63年4月1日で満年齢が3歳、4歳及び5歳になる者。

四、出願手続

志願者は、入学願書、健康診断書、専門医の診断書及び住民票謄本を志学先学校長に提出する。

※詳しくは、町教育委員会（五―一三六五）まで

素晴らしいコーラスを披露

コール・ブリーエン第一回発表会



第一回コールブリーエン発表会のよう＝12月5日、坂田小体育館

昭和六十三年六月に坂田小PTAコーラス部として結成され、第六回西原まつりや第一回町音楽祭などで、素晴らしい声と披露、町民にコーラスの楽しさを広めたコーラス部が去る九月、名称を「コールブリーエン」に改称し、十二月五日（土）午後三時より坂田小学校体育館において、第一回発表会を開催した。

コーブルブリーエン（高良美智子団長）では、仲本實先生（現当山小学校校長）の指導のもと「心豊かな歌声美人に！」をモットーに毎週金曜日の厳しい練習に耐え、今回の第一回発表会を迎えた。

発表会には、稲福恭助町教育長等来賓のほか、坂田小学校区内をはじめとする父母や子ども達、約二百五十人が参加、繰り広げられる歌声に盛大な拍手を送った。

なお、町青少年合唱団、ピアノの宮城佳代子さん、ソプラノ歌手・外間三枝子さんなども賛助出演、発表会に花を添えた。

団体十六区Aチーム、優勝

町老連第十四回輪投げ大会



会員の親睦と体力づくりで輪投げ大会＝12月2日、町社会福祉センター

町老人クラブ連合会（呉屋幸夫会長）主催、町国民健康保険課後援による第十四回町老連連合会輪投げ大会が十二月二日午前八時半より町社会福祉センターで開催された。

これは、町老クラブ会員の親睦と健康保持体力づくり（スポーツ推進事業）を目的としたもので、一チーム八名の二十一チーム、約二百五十名が参加。

会員相互の親睦を深めながら、一投一投に、盛んな声援を送り熱い戦いを繰り広げた。なお、輪投げ大会の結果は次のとおりとなっています。

【団体の部】優勝―十六区Aチーム、準優勝―一区Aチーム、三位―十区Aチーム

【個人の部】優勝―新里善正 準優勝―崎原光子、三位―仲宗根ヨシ

町商工会が町社協へ25万円 歳末義援金として



城間会長より宮平町社協会長へ歳末義援金＝12月2日、町役場に

町商工会（城間三郎会長）が十二月二日午前、町役場を訪れ、「歳末義援金として困っている方々のため役立てて下さい」と町社協（宮平吉太郎会長）へ二十五万円を贈った。

贈呈式には、平安町長、宮平町社協会長が出席、城間町商工会会長代表から義援金を受け取り、「毎年、歳末助け合い運動にご協力いただき感謝いたします。社会的に恵まれない方々のために有効に活用させていただきます」とお礼を述べた。

なお、義援金は、十一月に行われた第十一回町商工会チャリティー並びに親睦ゴルフ大会の収益金によるもの。

寄付金

▼字上原六八番地の屋良朝智さん町育英会へ一〇万円

▼字小那覇七三番地の玉那覇隆さん、祖母俊子さんの米寿記念で町育英会へ一〇万円。